

「セキュリティショー 2014」に出展

安全・安心・高機能ユニフォームを訴求
危険な職場環境から作業員を守る



NUCは、第22回セキュリティ・安全管理総合展（セキュリティショー）2014（3月4日～7日・東京ビッグサイトⅡ）に、「安全・安心・高機能ユニフォーム―危険な環境で活躍する作業員の安全を守る―」のテーマで出展しました。今回は消防団の新しい活動服、冷却ベスト、高視認安全服の紹介を通して、高機能ユニフォームの重要性をアピール。労働安全意識の高まりを反映して、来場者から強い関心を集めました。

NUCはESHの使命として「ユニフォームESHの改善・改良、研究開発を通じて、安心安全の社会に貢献します」を掲げています。セキュリティショーへの参加を続けているのも、この事業を広く認知してもらうためです。

ESHのうち、「E (environment)」は環境（エコ対策関連）、「S (safety)」は安全（高機能安全服関連）、「H (health)」は健康（衛生・医療関連）を表すものですが、さらに「+D (disaster prevention)」として防災（緊急時対応・特殊服関連）を加えています。危険な現場で立ち働く従事者の安全を、多方面から確保することを目的にしています。

冷却下着はベスト型で、2012年度JAXAオーブンラボ「宇宙用冷却下着の民生化に向けた検討及び改良の実施」により制作された冷却下着FY24―I型を民生品用に生産。

暑熱下でも熱中症対策に役立つものです。下着の素材はポリエステル100%ニットで、ホールガーマント製法です。冷媒タンクはコンパクトにし、軽量化しています。NUCが企画し、帝国繊維（株）が生産・販売いたします。

消防団の新活動服は、活動性と識別性にも優れたデザインが特徴です。消防団は地域に密着した消防・防災のリーダーとして、災害の有無に関わらず住民の安心と安全を守る役割が求められます。このためさらに活動し易いよう改良しました。アクリル系60%・ビニロン20%・再生ポリエステル20%混の生地を使った、上衣とパンツの組み合わせ。色はネイビーですが、背中、胸とパンツのポケット上部はオレンジにすることで視認性の向上を計りました。日本で初めて防災認定（K―I型）ラベルを取得しています。

高視認安全服は消防団員が活動する際に、団員同士や第三者からの存在を確認しやすとしたコート型防火服「ベストガードⅢ」。帝国繊維（株）が蛍光素材と反射機能の高い再帰性反射材を使い製作しました。表素材はメタ系アラミド繊維95%・パラ系アラミド繊維5%の組み合わせ。表は超撥水加工、裏は透湿防水加工を施してあります。高度な難燃性とファッショニ性を備えた防火服として期待されます。

セキュリティショウ 2014



今夏売り出す予定の冷却下着



NUC ブース



昨年行われた消防記念式典の様態を放映



消防団用防火服



多くの来場者で賑わった